

## 編集後記

『ミクスト・ミュージズ』の編集作業は、年度末の恒例行事となって久しいですが、毎度のことながら、今回も発行にたどりつくことができ、ほっとしています。

巻頭の論文には、小林英樹名誉教授と非常勤講師の山本百合子先生にご投稿いただきました。小林先生には表紙のデザインもご担当いただきました。ありがとうございました。

今回は、編集にあたっていくつか新しいことがありました。まず、今年度音楽学コースの専任教員に就任した東谷護先生の論文が掲載されたこと新しい風のように感じられ、そして、編集員に大学院1年生の3名が加わったことや、編集のためのパソコンが新しくなり、作業が作業が楽になりました。

発行にあたりお世話になったみなさまに、心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。M.Y.

今回は、小林英樹名誉教授と山本百合子先生の論文を巻頭に掲載いたしました。小林先生には、音楽学研究総合ゼミで「音楽学部の学生のための美術講座」をシリーズで行っていただいておりますが、論文としてまとめてくださり感謝しています。そして今回もまた、表紙絵をご担当いただきました。また、本学で日本音楽史の講義を担当されている山本先生からご寄稿いただき、嬉しく思います。ありがとうございました。

そのほか、音楽学コースの3名の先生方から論文をご投稿いただきました。後半には、音楽学コースの授業や特別講座、音楽学研究総合ゼミの報告と、4年生2名による卒業論文の要旨を掲載いたしました。

今回初めてミクスト・ミュージズの編集作業にかかわり、至らぬ点が多々ありましたが、とても勉強になりました。指導してくださった畑先輩をはじめとするスタッフの皆さん、竹田印刷の三木さん、山脇さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。Y.M.

今年度のミクスト・ミュージズが刊行できました。初めて作業に関わり、これまで見てきたミクスト・ミュージズが先輩方の努力でできていたことを改めて知りました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。M.U.

今年からミクスト・ミュージズの編集作業に携わらせていただきました。これまで編集作業などしたことがなく、編集長の村瀬さんや畑先輩に助けられながらの作業でしたが、貴重な経験ができたと思っております。ありがとうございました。M.T.